

2013年10月28日

お客様 各位

太平洋セメント株式会社

熊谷工場・高炉セメントB種の出荷再開について

弊社が2013年10月21日から23日にかけて、熊谷工場より製造・出荷した高炉セメントB種の一部に、混合材である高炉スラグ微粉末が通常より多く混入したことが判明致しました。なお、すでに出荷された当該製品は現在回収作業を進めているところでございます。皆様には多大なるご迷惑、ご心配をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げます。

現在、下記の通り原因の特定、設備の不具合の解消、および品質管理体制の強化を行い高炉セメントB種の出荷を熊谷工場より再開いたしました。

今後とも安定した品質のセメントの製造・供給に努めてまいりますので、安心してご使用いただけますようお願い申し上げます。

記

【原因】

高炉セメントは、基材である普通ポルトランドセメントおよび高炉スラグ微粉末の計量器の記録を監視し、正常な計量値であることを確認したのちに出荷しております。

この度の品質事故の原因は、普通ポルトランドセメントの計量器の不具合が原因であると特定しています。

当該の不具合は10月23日の夕方に解消して正常な作動をすることを確認したのち、同日18時頃から高炉セメントB種の製造を再開し、10月24日より出荷を開始しております。

【品質管理体制の強化】

計量器の記録監視だけでなく、製造1時間毎に採取した製造品のサンプルを用いて化学成分、スラグ分量の監視を実施しています。

そのほか、10月25日製造分より凝結および圧縮強さ試験の試験頻度を増加し、品質管理強化を行っております。

以 上